

2020年1月9日

各 位

会 社 名 カルナバイオサイエンス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 吉野 公一郎
 (コード番号：4572)
 問合せ先 取締役経営管理本部長 山本 詠美
 (TEL：078-302-7075)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年6月25日に公表した2019年12月期通期（2019年1月1日～2019年12月31日）の連結業績予想を、下記の通り修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正内容

2019年12月期通期業績予想の修正の内容（2019年1月1日～2019年12月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回公表予想 (A)	3,038	313	279	214	20.12円
今回修正予想 (B)	3,206	968	951	791	72.72円
増減額 (B-A)	168	655	672	577	
増減率 (%)	5.5%	209.4%	240.9%	268.9%	
(参考) 前期(2018年12月期)実績	754	△1,144	△1,159	△1,210	△125.02円

2. 業績予想修正の理由

創薬支援事業の米国および中国における販売が好調であったことから、2019年12月期の連結売上高予想を3,038百万円から3,206百万円（前回公表比168百万円増、同5.5%増）に上方修正いたします。事業別には、創薬支援事業の売上高予想を938百万円から1,078百万円に、創薬事業の売上高を2,100百万円から2,128百万円に修正いたします。創薬支援事業においては、米国および中国を中心に、キナーゼタンパク質およびアッセイキットの販売やプロファイリングサービスの受託が計画を上回って推移しました。また、創薬事業の売上高の修正は前回公表予想作成時の前提為替レートと実績レートの差異によるものです。

連結営業利益の予想については、313百万円から968百万円（前回公表比655百万円増、同209.4%増）に上方修正いたします。創薬支援事業では、キナーゼタンパク質、アッセイキットおよびプロファイリングサービスなど利益率の高い自社製品の売上が計画を上回ったことにより、営業利益予想を247百万円から403百万円に修正いたします。創薬事業では、主に前臨床試験に係る外注費用などの効率化を実施したこと、また、AS-0871のCTA申請（欧州における臨床試験許認可申請）に社内リソースを集中させたことから、AS-1763の前臨床試験費用の発生が一部来期にずれこむ見通しとなったため、同事業の営業利益の予想を65百万円から564百万円に修正いたします。連結ベースの研究開発費は前回公表予想の1,808百万円

から1,296百万円になる見込みです。

以上の売上高および営業利益の予想に営業外損益の影響を考慮し、経常利益は951百万円（前回公表予想比672百万円増、同240.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は791百万円（前回公表予想比577百万円増、同268.9%増）となる見込みです。

※本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び本資料の発表日現在において合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上

（注）業績予想の修正に関しましては、本日公表いたしました「中期経営計画の修正に関するお知らせ」もご参照ください。